

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第4区分
 【発行日】平成25年1月24日(2013.1.24)

【公開番号】特開2011-126062(P2011-126062A)
 【公開日】平成23年6月30日(2011.6.30)
 【年通号数】公開・登録公報2011-026
 【出願番号】特願2009-284876(P2009-284876)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/18 (2006.01)

B 4 1 J 2/185 (2006.01)

【FI】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 R

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月3日(2012.12.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

噴射液体噴射ヘッドにより記録媒体に対して記録を行い、

上記液体噴射ヘッドのフラッシングを回転ローラーに対して行うことができる液体噴射装置であって、

上記回転ローラーの上記フラッシングされた液体を受ける液体受け部よりも下方の部分の少なくとも一部が洗浄液に浸漬させられるように、上記洗浄液が貯留される洗浄液貯留槽を備える、

ことを特徴とする液体噴射装置。

【請求項2】

請求項1に記載の液体噴射装置であって、

前記回転ローラーは、該回転ローラーの母線が前記液体噴射ヘッドのノズル列に沿うように配置されている、

ことを特徴とする液体噴射装置。

【請求項3】

請求項1または2に記載の液体噴射装置において、

前記液体受け部は、前記回転ローラーの回転軸を含む鉛直面から外れた位置に配置されている、

ことを特徴とする液体噴射装置。

【請求項4】

請求項1から3のいずれか1に記載の液体噴射装置において、

前記回転ローラーは、前記回転軸よりも前記液体噴射ヘッド側の部分が印刷領域の反対側に向かうように回転する、

ことを特徴とする液体噴射装置。

【請求項5】

請求項1から4のいずれか1に記載の液体噴射装置であって、

前記回転ローラーに付着したインクを除去する除去部材を備える、

ことを特徴とする液体噴射装置。

【請求項6】

請求項 5 に記載の液体噴射装置であって、

前記除去部材は、前記回転ローラーの前記洗浄液に浸漬されている部分よりも回転方向に向かって上方となる部分において、前記付着したインクの除去を行うことができるように配置されている、

ことを特徴とする液体噴射装置。

【請求項 7】

請求項 5 に記載の液体噴射装置において、

前記除去部材は、前記回転ローラーが前記洗浄液に浸漬されている部分において、前記付着したインクの除去を行うことができるように配置されている、

ことを特徴とする液体噴射装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記発明に加えて、回転ローラーは、該回転ローラーの母線が前記液体噴射ヘッドのノズル列に沿うように配置されていることとする。